

「小樽市強靱化計画(原案)」に対して提出された意見等の概要及び市の考え方等

1 意見等の提出者数	2人
2 意見等の件数	8件
3 上記2のうち計画等の案を修正した件数	3件
4 意見等の概要及び市の考え方	

No.	意見等の概要	市の考え方等
1	本計画を策定した部署名、連絡先情報を記載すべきである。	最終ページに、担当部署、連絡先情報を掲載します。
2	気象に関する記載において地球温暖化による異常気象に関することについて記載しないのか。	本市では、大雨日数・記録的短時間大雨回数に今のところ長期的に大きな変化は見られていないことから、「1小樽市の概況」の「気象」には記載しませんが、世界的な地球温暖化の進行に伴う気候変動の影響も踏まえていく必要があることから、「策定趣旨」の中で、気候変動について触れることとします。 【小樽市強靱化計画(原案)修正文】(P1) 「(略)このため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、まちづくりや産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、本市の強靱化を推進するため、「小樽市強靱化計画」を令和2年11月に策定しています。この度、計画期間を終えることから、国や北海道と同様に、 <u>予測される自然災害リスクや気候変動の影響、社会情勢の変化等を踏まえ、本計画の改定を行いました。</u>
3	1792年後志の津波(M7.1)と記載されるが津波の高さを追記した方がイメージが沸く。	1792年後志の津波について、津波の高さは不明であるため記載はできません。
4	経済活動の機能維持について「物流」に触れているが、「金流」(お金の流れ)についても触れた方が良い。キャッシュレスが浸透していくなか、通信インフラが使用できなくなったときの対処や、長期にわたって災害が継続したときの給与支給の扱いなどをイメージした指摘です。	通信インフラが使用できなくなった場合等の金流(金融サービス)の維持については国の所管事項であり、国土強靱化基本計画にその推進方針等について記載がありますので、本市の強靱化計画への掲載はしないものです。
5	通信インフラが停止しているときの市民への広報(情報発信)の対応が広報車の活用ベースでは不十分である。町内会や新聞社・郵政などを活用して臨時広報(紙)を住民に配布する運用の検討が必要。	本計画では、通信インフラの障害時には、防災行政無線(同報系)、FMおたるでの緊急災害放送等による情報発信に加え、消防・広報車両での広報など、重層的な情報伝達に努めることとしています。

No.	意見等の概要	市の考え方等
6	<p>計画にある施策プログラムは、基本目標3つのうち、(1)しか満たしていない。どの施策も他市町村にも当てはまるような記述なので、小樽市の強みが見られないし、持続的成長に関係した項目もないようだ。小樽市の強みとは具体的にどのようなもので、持続的成長とはどういう状態なのかを示した方が良い。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※小樽市強靱化計画の基本目標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大規模自然災害から市民等の生命・財産と社会経済システムを守る (2) 小樽市の強みを活かし、国・北海道の強靱化に貢献する (3) 小樽市の持続的成長を促進する </div>	<p>「小樽市の強みを活かす」ことについては、「本市は港湾、鉄道、高速道路、工業団地などの交通・産業基盤を有しており、これらを生かして国及び北海道全体の強靱化に貢献するバックアップ機能を強化していくこと」であると考えており、分かりやすいよう「これらを生かして」を「これらの強みを生かして」に修正します(P4)。</p> <p>また、持続的成長については、強靱化の取組を推進することが、大規模自然災害による甚大な被害と復興の遅れによるまちの衰退を防ぐとともに、平時におけるまちの機能や魅力の向上を図り、持続的な成長に資するものであることを記載しています(P4)。</p>
7	<p>どの施策プログラムも、各カテゴリー1つのリスクシナリオにのみ対応するもので、複数のカテゴリーのリスクシナリオが同時多発的に発生する場合の対策が考察されていない。どのリスクシナリオも関連し合っており、複数のカテゴリーを網羅的、横断的に考えるようなものにした方が良い。</p>	<p>本計画では、国及び北海道の強靱化計画と同様に、平時の備えを中心に、それぞれのリスクシナリオの回避に向けた施策プログラムを設定する構成としており、単一リスクへの対応を積み重ねることが、複合的なリスクへの対応の土台にもなるものと考えております。</p>
8	<p>自助の重要性は理解しているが、小樽は高齢者が多いので、自助に期待しない方が良い。能登半島地震を振り返ると、高齢者が多いため、施策プログラム全般の運用に、様々な支障が発生すると容易に予想される。そのことに対する考察と対応もあった方が良い。</p>	<p>御意見は、本計画の推進に当たって、参考にさせていただきます。</p>

* 同じ内容の意見が複数ある場合は、「意見等の概要」の最後に件数を記載してください。

* 計画等の案を修正した場合は、「市の考え方等」の欄に修正箇所を併せて記載してください。